

## 共同研究会記録（1998 年度）

### 『日本の語り物 ― 口頭性・構造・意義』

代表：時田アリソン

幹事：光田 和伸

第1回（5月15日，16日）：「さまざまな文化・時代・ジャンルにおける語り物の役割」

第2回（7月10日，11日）：「語り物における口頭性と書記性」

第3回（9月18日，19日）：「文字テキスト・記譜・身体的・視覚的表現」

第4回（11月13日，14日）：「語り物の構造」

臨時研究会（12月11日，12日）

第5回（1月29日，30日）：「語り物と女性の存在 ― ジェンダー研究との接点」

「非語り物化・語り物の多元化 De-narrativization」

第6回（3月19日，20日）：「宗教・イデオロギー」

---

第1回（5月15－16日）「さまざまな文化・時代・ジャンルにおける語り物の役割」

歴史的地理的概観。現代に生き続ける語り物の意義。人類文化における日本の語り物の位置。

問題提起：時田アリソン（日文研）「共同研究テーマ、目標、範囲、方法論、研究の現状」

発表者：横道萬里雄（沖縄県立芸術大学）「語り物の概観」

ゲストスピーカー：ヒュー・デフェランティ（シドニー大学）「オーラル・コンポジションにおけるテクスチュアリティの問題：座頭琵琶の伝承について」

---

第2回（7月10－11日）「語り物における口頭性と書記性」

文字テキストを持たない語り物の意味。口頭性は書記文化の影響をどのように受けたか。

言語的側面と音楽的側面の口頭性の意味。高度に発達した音楽的側面を持つ語り物は口頭構成を行えるか。

発表者：川田順造（広島市立大学）「語りということの位置づけ」

井口淳子（大阪音楽大学）「中国農村の語り物におけるテキストの『改編』」

長田俊樹（日文研）「インド・ムンダ人の創世神話」

山口修（大阪大学）「語り物におけるテキストとしての詞章・音楽・身体語法の口頭性」

中川裕（千葉大学）「アイヌの語り物 ― 研究の現状」

コメンテーター：千葉伸彦（アイヌ音楽研究家）

---

第3回（9月18-19日）「文字テキスト・記譜・身体的・視覚的表現」

文字テキストが成立したあとの口頭構成の行方。盲目の奏者によって語られる平曲になぜ譜本が必要になったか。文字テキスト・墨譜・ネウマ・演劇・踊り手の身体技法・絵巻物・刊本の挿し絵など、さまざまなメディアによる語り物の表現が語り物にどんな影響を与えたか。

発表者：山下宏明（愛知淑徳大学）「口誦と文字テキスト」

頼富本宏（日文研）「節談説経」

渋谷隆阿（真言宗豊山派本覚院） 節談説経の実演

田中悠美子（兵庫教育大学）「義太夫の記譜について」

スティーヴン・ネルソン（上野学園大学日本音楽資料室）「講式の楽譜化」

---

第4回（11月13-14日）「語り物の構造」

さまざまな語り物の構造を、言語的・音楽的・視覚的側面を考慮しながら、比較する。すべてのジャンルに共通する構造的要素を探求する。古い形の継承。持続して現れる表現上の約束ごと（道行・口説きなど）。伝統の組織化・体系化にはたす家元制度の役割。

発表者：薦田治子（東京芸術大学）「語り物の音楽構造を考えるための用語について（中世語り物を中心に）」

澤田篤子（大阪教育大学）「講式の音楽構造」

蒲生美津子（沖縄県立芸術大学）「能と幸若の音楽構造」

山田智恵子（大阪音楽大学）「義太夫節の音楽構造」

時田アリソン（日文研）「語り物の構造モデル」

矢向正人（九州芸術工科大学）「三味線音楽への新しいアプローチ—— 計算機を用いた分析の可能性」

マイケル・ワトソン（明治学院大学）「『平家物語』のナラトロジー—— 覚一本を中心に」

---

臨時研究会（12月11-12日）

発表者：井上章一（日文研）「ユリシーズの伝説と幸若舞」

蒲生郷昭（日本大学）「長唄が摂取した説経」

小島美子（国立歴史民俗博物館）「民俗音楽における語り物」

斎藤秀樹（相山女学園大学短期大学）「中世期宗教儀礼のなかの祭文」

コメンテーター：小松和彦（日文研）

---

第5回（1月29-30日）「語り物と女性の存在 — ジェンダー研究との接点」

発表者：脇田晴子（滋賀県立大学）「中世の女性芸能者について」

廣井榮子（大阪大学大学院）「『声』のゆくえ — 豊竹呂昇のレコード演奏をめぐって」

徳田和夫（学習院女子大学）「ヨーロッパ人来日以前の『百合若大臣の物語』～『ユリシーズ』日本伝来・翻案説の否定～」

「非語り物化・語り物の多元化 De-narrativization」

発表者：藤田隆則（大阪国際女子大学）「語り物の立体化 — 能を例にして」

野川美穂子（東京芸術大学）「地歌・箏曲と語り物の接点」

小塩さとみ（お茶の水女子大学）「長唄の語り物性」

シルヴァン・ギニャール（大阪学院大学）「筑前琵琶の語り性」

---

第6回（3月19日-20日）：「宗教・イデオロギー」

発表者：西山克（京都教育大学）「熊野観心十界図の絵相と語り」

武内（半澤）恵美子（総合大学院大学・日文研）「近世浄瑠璃語りの諸相」

真鍋昌賢（大阪大学大学院）「ポピュラーテキストとしての浪花節」

兵藤裕己（成城大学）「芸能伝承における中世と近世」

アンドリュー・ガーストル（ロンドン大学・京都大学客員教授）浄瑠璃・歌舞伎の世界と趣向：オラリティーとパフォーマンス

---

※発表者の所属は当時